

5年次に向けて「宮沢賢治の世界Ⅳ」



最終回の講義に聞き入る参加者の皆さん



賢治の世界を語る高野先生

4年次目の講座は「風の又三郎」の謎に迫る講座が中心でした。6月、藤城清治美術館(那須町)の「風の又三郎」コーナーでの光と影の美しさに迫る学習でスタートしま

谷川の岸に小さな学校がありました。……
(風の又三郎 宮沢賢治 角川文庫)
……
4年次目の講座は「風の又三郎」の謎に迫る講座が中心でした。6月、藤城清治美術館(那須町)の「風の又三郎」コーナーでの光と影の美しさに迫る学習でスタートしま

宮沢賢治の文学世界Ⅳ

NPO法人
伊達西地区

自治協だより

第20号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
発行責任者
会長 小野孝雄

- 1面 宮沢賢治の世界Ⅳ「風の又三郎」最終講座
らぶ。DateⅣ大地編③・らぶ。DateⅣ歴史探訪②
- 2面 被災地復興支援視察バスツアー(第一回・第二回)
- 3面 交流館フェスティバル
- 4面 伊達西地区自主防災訓練
- 5面 非常食作り講習会・クリスマスマズリースつくり教室・健康講座
- 6面 第二回しやべり場
おらが町内会パートⅡ「南堀」

- 賢治童話における来訪・訪問の問題／全七回
- 第一回 現地研修旅行「藤城清治美術館 那須高原」
 - 第二回 長編「風の又三郎」の謎に迫る①導入部の謎
 - 第三回 「風の又三郎」②9月4日の事件の謎
 - 第四回 「風の又三郎」③9月8日の事件の謎
 - 第五回 「風の又三郎」④結末部の謎
 - 第六回 「山男の四月」における山男像
 - 第七回 「祭りの晩」における山男像

●今年度の内容の振り返り●

講師 福島大学名誉教授 高野保夫先生

その後、講座が6回(左表参照)、12月10日(月)が最終講座でした。毎回の講座では、高野先生から繰り出される賢治ワールドを楽しく、熱心に、多くの参加者がほとんど休まずに聞き入りました。先生が賢治の世界の奥深さをわかりやすく掘り下げていただいた何よりの証拠でした。
最終日は、次年度についても講座の継続を希望する声がいっぱいあり、5年次に向けての大きな弾みとなりました。



左 最終日の講義 右 先生とお茶会

南堀

新シリーズ おらが町内会 パート2

平成30年度からは少し趣向を変え、それぞれの町内会の運営上の工夫や悩み・特殊性などを紹介していきます。これからの変化に対応した南堀親和会について紹介します。

◆次代の変化に合った活動

南堀親和会(町内会)は今年で発足六十五年になります。発足当時は、生活環境の整備が大きな課題でした。しかし、時代も大きく変わり、少子高齢社会となり、世帯も代替わりしつつある現在、この状況に合った親和会活動が求められています。

◆身近な活動を通して

特に、神社や山車などの活動拠点を持たない親和会としては、身近な活動を通して親和会づくりを進めていくことが大切と考えています。

若堀会(子供会)は数名まで減少したこと、近隣の子供会との共同活動を試みたりしています。環境部と若堀会が中心となって活動している「南堀児童公園」の水遣り・清掃・除草などの維持管理と、春と秋の花苗植替え作業は、月毎に当番を決めて行っています。今年度は懸案だったゴミ集

積所の移転に際して、移転先に特別な事情があったこと、経費の節減を図るために、材料の購入や加工・組立てなどを、有志の積極的な参加のもと、現場条件に合った集積所を手作りで製作設置しました。また、健康増進を図るために、体育館が中心となり、伊達市チャレンジデーに参加する形でウォーキングを、さらに有志の企画による「南堀ウォーク」も実施しています。新春懇談会は、親和会と福祉会が合同で開催し、高齢社会の共助のあり方や世代間交流などの山積する課題について意見交換をし、会員相互の理解を深めています。高齢者が中心に活動している福祉会では、茶話会やクリスマス会を始め、旅行などを図っているところです。

◆会員の参加と協力を力に！

これらの活動には、課題が山積していますが、多くの会員の積極的な参加のもと、皆



南堀公園の秋の花苗植替え作業の様子



完成したゴミ集積所と有志による作業状況



親和会福祉会合同新春懇談会での講演の様子



福祉会活動の様子
一輪車レース

視察訪問がありました

右越コミュニティ運営協議会(宮城県登米市)

11月27日(火) 宮城県登米市右越地区コミュニティ運営協議会の皆さんの視察訪問を受けました。同じような地域規模の地域づくりの参考にしようとの訪問でした。各担当の熱心な質疑があり、その意欲に感銘を受けました。
理事長・事務局長・企画総務部長が対応し、伊達西地区の様子や自治協からNPOへの推移、活動の現況などを説明しました。
「他を知る」は、「我が力の発揮」になることでしょう。



活発な懇談会

編集後記

充実した各種の活動がありましたので、6面構成の編集でお届けします。状況の一端を写真を多く使っていますので「周辺部」を想像ください。感想をお寄せいただければ次の発展が期待されます。よろしくお願いたします。(八島)

交流館フェスティバル



交流館のホワイエも満員に

12月1日(土)に開催された交流館フェスティバルでは、たくさん子どもたちや地域の皆様にお越しいただき、館内に明るい笑い声が響きました。

9時に入場が始まると、ものづくり・科学(実験)教室の会場はあっという間に大賑わいとなりました。子どもたちは周りの大人たちにコツを教えてもらいながら、自分の手で作品を完成させ、さっそく身に着けたり遊んだりしていました。

ものづくり・科学(実験)教室

こけ玉



まが玉



ポップリ



風車・竹笛



やじろべえ



紙飛行機



わたあめ



白玉あずき



ワッフル



たこ焼き・たい焼き



おでん



焼き鳥・お好み焼き



ピザ・ナン



ほぼ素晴らしい姿が見られました。自分で焼いたりトッピングをしたりした出来たての食べものは、よりおいしく感じられたようでした。この子ども達はやがて地域の担い手になってくれることでしょう。

ご参加の皆様、見守って下さった地域の方々、スタッフの皆様の協力のおかげで、にぎやかで楽しい一日となりました。ありがとうございました。

クレープ



食べもの
づくり



第4回 伊達西地区自主防災訓練(11月第1日曜日)

平成30年度 西地区自治協議会 防災訓練

安否確認表

平成30年11月4日(日) 8:30~

番号	町内会名	世帯数	世帯人員	安全確認	不在世帯	計	支援等
1	川原町	141	417	361	56	417	
2	田町	142	440	374	76	450	
3	南郷	77	203	157	46	203	
4	志和町第一	204/103	281	256	25	281	
5	志和町第二	155	411	335	76	411	
6	長岡	247	623	532	91	623	
7	東町	377	748	638	110	748	
8	西町	87	228	185	43	228	
9	中興	124	272	242	30	272	
10	北二	83	213	174	39	213	
11	北三	202	623	518	105	623	
12	東一	133	331	271	60	331	
13	東二	73	246	236	10	246	
14	東三	130	316	266	50	316	
15	根郷	117	257	237	20	257	
16	生協地区						
17	南郷町	257		211	46	257	
計							

各町内会の安否確認表

安否確認



毛布で搬送訓練



各町内会の情報を共有

応急処置体験



三角巾を使ったケガの対処法を実演



簡易担架の扱い方を学んだ



非常食の紹介・試食



非常食の盛付け



「非常食作り講習会」で地域の皆様が考案したレシピをもとに



水だけで作れるα米や、パンの缶詰などの保存食も紹介

11月4日(日) 朝8時30分の花火を合図に「地震が起きた」「電気、水道停止」を想定し、今年で4回目となる「伊達西地区自主防災訓練」を行いました。各町内会の協力で安否確認を実施、物干し竿と毛布で作る担架での救助訓練、簡易トイレ紹介、人工呼吸等実演訓練、応急処置の仕方、非常食の紹介を地域の方々と訓練を通して学びました。

非常食の紹介では、買い置きや冷蔵庫にある材料から、「冷凍シューマイでのキーマカレー」、

「味噌味サバ缶の煮物」や「肉・魚・野菜の酒蒸し」、お菓子感覚での「魅のチーズ焼き」「小豆缶入りホットケーキ」、他3品、合計8品の非常食を試食していただきました。(次ページの非常食講習会での参加者推薦メニューから)

参加者からは、「非常食とはいえないほどの家庭料理がおいしく食べられた。」との声が聞かれ、作ったスタッフも喜ばれていました。参加者、お手伝いいただいた地域の皆さん、大変ありがとうございました。

【災害想定】

午前8時30分、福島県沖でM8.0の大規模地震が発生。震度7。電気、通信、水道が使用できない。





出来上がった非常食を全員で試食



6班に分かれ、その場で相談してメニューを決める→

非常食作り講習会

10月18日(木) 10時〜 普段家庭にある食料品でできる非常食作りを行いました。電気、水道を使わず、買い置きしてあるペットボトルの水やお茶を使って、27種類の家庭料理を作りました。ペットボトルのお茶で、ご飯・みそ汁を鍋で作りました。水で作るご飯・みそ汁と変わりなく美味しく出来上がりました。あり合わせで料理を作る知恵を学んだ非常食作り講習会となりました。

健康講座

11月14日(水) 桑名医院の桑名先生による健康講座が地域の方対象に開かれました。

『ぼつくり近ける確率は10%、残り90%は要介護状態を経て最期を迎える』だから、

「少しでも長く健康になる努力を続けることが大切です。」

と、桑名先生は力強く話され、合わせて実技の指導もいただきました。

第二部では、フレイル(虚弱)の予防メニューとして食生活改善推進員の皆さんに青菜とチーズのおにぎり(骨粗鬆症予防)、うま塩ひじき(減塩食)、貝だくさんみそ汁(便秘予防)、「サーモンとごまの簡単ロースト(筋肉と骨をつくる)」を作ってもらい、参加者全員で塩分濃度0.7%の料理を試食しました。



真剣に聞き入る参加者の皆さん



↑ 食生活改善推進員の皆さん ↑ 話と実技の桑名先生

クリスマスリースづくり教室

12月6日(木) に山中厚子先生を講師に迎え、プリザーブドフラワーを使ったクリスマスリースの作り方を教えていただきました。さまざまな草花や果実を輪っかの形の土台の上にバランスよく置いていき、接着剤でひとつひとつ固定して仕上げました。参加者の皆さんは納得のいく形になるまで何度も配置を直ししながら、思い思いのリースを完成させていました。それぞれ表情の違ったリースが出来上がり、参加者どうしで作品の感想を述べあっている姿も見られ、和やかな温かい時間となりました。

← リースの基本を話す山中先生



← 先生のお手本のリース

見栄え良くパーツを並べるのが難しい！

第二回 しやべり場

12月14日(金) 第二回目のしやべり場が開催されました。話合いを通じた地域づくりの場です。本日のお品書きは、『おでんといかん参』の郷土料理。そして、地域の方からいただいた坊っちゃんかばちゃを使ったマカロニグラタン。粉雪が降っていたこともあり、熱気が進みました。また、試作品として作ったベンチでの写真撮影会。地域の方が手作りした楽器の伴奏での歌声。寒い夜でしたが、交流館が地域愛に包まれた夜となりました。

手作りのベンチが話題に



手作りの楽器で即興演奏会



歌声に拍手喝采

らぶ2 Date IV 大地編③

第2回大地編10月22日

テーマは「資料が少ないという『長岡』の中世を推理してみませんか？」

・「長岡」の館を推理、推察する

第3回大地編12月12日

テーマは「往古から交通の要路として栄えたであろう西地区を推理する」(太古〜現代)

・「東山道」「奥大道」「奥州街道」そして東北本線…

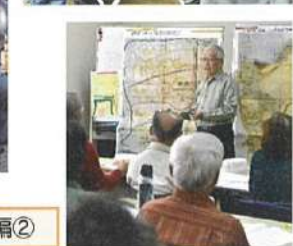
講師の八島俊雄先生から、伊達西地区への自信、自負の熱き思いの講話を拝聴しました。

大地編③



熱心に聞き入る参加者の皆さん

大地編②



らぶ2 Date IV 歴史探訪②

第2回歴史探訪

テーマは「中世伊達氏の城跡を巡る」

①高子岡城跡 ②梁川城跡

③西山城跡の順に巡りました。

講師の先生方は①は佐藤忠夫様(高子町郷土史研究会) ②は八巻善兵衛様(梁川町郷土史研究会顧問)

③齋藤知子様(種徳美術館)の3人で、ていねいな説明で、伊達氏の伊達地域での動きが分かりました。

全体を菊田正男様にコーディネートしていただきました。



被災地・復興支援視察バスツアー(第一回・第二回)

10月20日(土)と11月10日(土)に、「大人の社会科見学」として浪江町の請戸小学校と大平山避難所、樺葉町のJヴィレッジ、いわき市・ら・ミュウを訪ねるツアーを開催しました。請戸小学校は、東日本大震災で津波の被害を受けながらも、児童・職員全員が無事に避難することができました。その「奇跡」はどのようにして起きたのかを「NPO法人団塊のノープレス・オブリージュ(DNO)」の橋本武司さん、丹治睦雄さんに説明していただきながら、震災の痕跡が色濃く残る小学校と子供たちが避難した大平山周辺を視察しました。



大平山は現在墓地になっている

大平山避難所



バスの中では、DNO制作の「請戸小学校物語」紙芝居を鑑賞



Jヴィレッジ



第2回(11/10)には、現地ガイド村松さんのお話も聞くことができました



ドーム型の屋根に覆われた全天候練習場